

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

令和4年 がん研発 第018 号
令和 4年 10月 5日
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会 有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
氏名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
電話(03) 3520 - 0111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科		2小児科	○	3整形外科		4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	乳腺内科	2	腫瘍内科	3	漢方内科	4	疼痛緩和内科	5	形成外科
6	頭頸部外科	7	病理診断科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0	0	0	0	686	686

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	380	23.2	403.2	看護補助者	68	診療エックス線技師	0
歯科医師	5	1.2	6.2	理学療法士	9	臨床検査技師	87
薬剤師	69	0.8	70	作業療法士	2	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	2	その他	0
助産師	0	0	0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	828	4.6	832.6	臨床工学士	11	医療社会事業従事者	12
准看護師	2	0	2	栄養士	0	その他の技術員	61
歯科衛生士	5	0	5	歯科技工士	0	事務職員	271
管理栄養士	18	0	18	診療放射線技師	84	その他の職員	60

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	29	眼科専門医	2
外科専門医	84	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	0	放射線科専門医	23
小児科専門医	1	脳神経外科専門医	0
皮膚科専門医	3	整形外科専門医	6
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	33
産婦人科専門医	24	救急科専門医	3
		合計	227

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐野 武) 任命年月日 2018 年 7 月 1 日

医療安全管理委員会 委員
 2016年 7月 1日 ~ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	516.6 人	0 人	516.6 人
1日当たり平均外来患者数	1715.6 人	39.2 人	1754.8 人
1日当たり平均調剤数		1441.6	剤
必要医師数		150.355	人

必要歯科医師数	2	人
必要薬剤師数	19	人
必要(准)看護師数	317	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	422.31 ㎡	SRC	病床数	10 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 209.89 ㎡		病床数	26	床	
	[移動式の場合] 台数 0 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 47.06 ㎡					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	416.7 ㎡	SRC	(主な設備)	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R、US-3100R、FOBIT-W		
細菌検査室	78.25 ㎡	SRC	(主な設備)	マイクロスキャンWalkAway96、コバスタqMan48		
病理検査室	378 ㎡	SRC	(主な設備)	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シークエンサー(Sanger型)など		
病理解剖室	72.25 ㎡	SRC	(主な設備)	写真診断装置、ストライカーなど		
研究室	1,519 ㎡	SRC	(主な設備)	遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど		
講義室	370 ㎡	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38 ㎡	SRC	室数	1 室	蔵書数	22,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.2	%	逆紹介率	84.5	%
算出根拠	A: 紹介患者の数			8,904	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			9,572	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			739	人
	D: 初診の患者の数			11,323	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学附属さ いたま医療センター教 授	○	医療安全に関する業務 および研究への従事経 験を有するため	無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通研 究センター教授		法曹資格を有し、医療 安全に関する研究を 行っているため	無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務め ており、医療を受ける者 の立場の代表となりえ るため	無	2(医療を受ける者)
齊藤 彰一	公益財団法人がん研 究会有明病院		前職にて医療安全管理 業務に従事した経験を 有するため	有	1(医師)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
公益財団法人がん研究会有明病院ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
実績なし	

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ペトレキセド静脈内投与およびシスプラチン静脈内投与の併用療法肺がん(扁平上皮肺がんおよび小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)JIPAG試験	0
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)およびカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	2
ゲムシタビン静脈内投与、ナブ-パクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	2
FOLFIRLINOX療法	0
先進医療の種類の合計数	5種
扱い患者数の合計(人)	4人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	重症筋無力症	1	56		
2	神経線維腫症	10	57		
3	パージャール病	1	58		
4	全身性エリテマトーデス	3	59		
5	シェーグレン症候群	2	60		
6	筋ジストロフィー	1	61		
7	特発性拡張型心筋症	1	62		
8	再生不良性貧血	1	63		
9	自己免疫性溶血性貧血	1	64		
10	特発性血小板減少性紫斑病	1	65		
11	血栓性血小板減少性紫斑病	1	66		
12	下垂体性ADH分泌異常症	1	67		
13	下垂体前葉機能低下症	1	68		
14	原発性胆汁性肝硬変	1	69		
15	原発性硬化性胆管炎	1	70		
16	クローン病	1	71		
17	潰瘍性大腸炎	19	72		
18	IgG4関連疾患	1	73		
19	特発性多中心性キャッスルマン病	1	74		
20			75		
21			76		
22			77		
23			78		
24			79		
25			80		
26			81		
27			82		
28			83		
29			84		
30			85		
31			86		
32			87		
33			88		
34			89		
35			90		
36			91		
37			92		
38			93		
39			94		
40			95		
41			96		
42			97		
43			98		
44			99		
45			100		
46			101		
47			102		
48			103		
49			104		
50			105		
51			106		
52			107		
53			108		
54			109		
55			110		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	19
合計患者数(人)	49

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準
歯科外来診療環境体制加算1
特定機能病院入院基本料 7:1
救急医療管理加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1 30:1
急性期看護補助体制加算 25:1 5割以上
看護職員夜間配置加算 12:1配置加算1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算1
無菌治療室管理加算2
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)
緩和ケア診療加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染対策向上加算1 -指導強化加算
患者サポート体制充実加算
報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
後発医薬品使用体制加算3
病棟薬剤業務実施加算1
病棟薬剤業務実施加算2
データ提出加算 2, 4
入退院支援加算 1 入院時加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
特定集中治療室管理料3 -早期離床・リハビリテーション加算、早期栄養介入管理加算
緩和ケア病棟入院料1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
小児運動器疾患指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料1
連携充実加算
ニコチン依存症管理料
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
がん治療連携計画策定料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
歯科治療時医療管理料
遺伝学的検査
BRCA1/2遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
検体検査管理加算(Ⅰ)
検体検査管理加算(Ⅳ)
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ロービジョン検査判断料
画像診断管理加算1
画像診断管理加算2
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影

CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
乳房MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
がん患者リハビリテーション料
リンパ浮腫複合的治療料
集団コミュニケーション療法料
歯科口腔リハビリテーション料2
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
導入期加算1
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
センチネルリンパ節加算
自家脂肪注入
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
輸血管理料 I
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
麻酔管理料(I)
麻酔管理料(II)
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療(IMRT)
画像誘導放射線治療(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算
デジタル病理画像による病理診断
病理診断管理加算2
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科疾患管理料 注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	EGFR 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌におけるEGFR 阻害薬耐性機序(C797S 耐性変異)を克服する新規治療法の確立を目指した研究	内堀健/片山量平	有明病院 呼吸器内科	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
2	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	北野滋久	有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部	100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
3	遺伝子組み換え麻疹ウイルスを用いた抗がんウイルス療法の臨床研究	高橋俊二	有明病院 総合腫瘍科	8,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
4	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	尾阪将人	有明病院 消化器内科 肝胆膵内科	400,000	委 AMED委託費(革新的がん)
5	局所進行胃癌に対する術前科学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	布部創也	有明病院 消化器外科	400,000	委 AMED委託費(革新的がん)
6	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	阿江啓介	有明病院 整形外科	300,000	委 AMED委託費(革新的がん)
7	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋学	有明病院 消化器外科	100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
8	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊二	有明病院 総合腫瘍科	770,100	委 AMED委託費(革新的がん)
9	切除不能局所進行膵癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人	有明病院 消化器内科 肝胆膵内科	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
10	「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	三谷浩樹	有明病院 頭頸科	80,000	委 AMED委託費(革新的がん)
11	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	大野真司	有明病院 乳腺センター	1,300,000	委 AMED委託費(革新的がん)
12	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	矢野智之	有明病院 形成外科	698,400	委 AMED委託費(革新的がん)

12

13	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性獲得に関わる分子基盤の探索	丸山大	有明病院 血液腫瘍科	8,600,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
14	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	丸山大	有明病院 血液腫瘍科	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
15	MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第Ⅰ相試験	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
16	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	鈴木涼子	有明病院 放射線治療部	240,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
17	臨床病期Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	渡邊雅之	有明病院 消化器外科	100,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
18	Stage Ⅰ/Ⅱ舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	福島啓文	有明病院 頭頸科	800,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
19	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究(フォローアップ)	水柿秀紀	有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部	300,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
20	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	上野貴之	有明病院 乳腺外科	220,700,000	委	AMED委託費 (革新的がん・全ゲノム)
21	医師主導試験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	温泉川真由	有明病院 婦人科	1,300,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
22	産学連携全国がんゲノムスクリーニング(SCRUM Japan)患者レジストリを活用した BRAF 遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導試験	山口研成	有明病院 消化器化学療法科	1,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
23	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	金尾祐之	有明病院 婦人科	200,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
24	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	大野真司	有明病院 乳腺センター	500,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
25	免疫応答モニタリングによるがん免疫の全容理解に基づく新規層別化マーカーの開発	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	30,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)

26	BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	篠崎英司	有明病院 消化器化学療法科	1,000,000	委	AMED委託費(厚労系他)
27	日・リトアニアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特徴の比較検討及び乳房MRIによる早期乳癌の検出能に関する研究	大野真司	有明病院 乳腺センター	250,000	委	AMED委託費(厚労系他)
28	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫(AITL)及びその他の濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫に対するダサチニブの多施設第II相医師主導治験	寺内隆	有明病院 核医学部	500,000	委	AMED委託費(厚労系他)
29	がん細胞および免疫応答解析に基づく免疫療法効果予測診断法の確立	西尾誠人	有明病院 呼吸器内科	26,923,077	委	AMED委託費(次世代がん)
30	メチル化ctDNAにより大腸がん根治術後補助療法モニタリング・システムの開発	長山聡	有明病院 消化器外科	600,000	委	AMED委託費(次世代がん)
31	腸内細菌を指標とした大腸がんスクリーニング方法の確立とそのがん予防への応用 / 腸内細菌を利用した大腸がんの早期診断方法及び発症リスク評価方法の開発	長山聡	有明病院 消化器外科	5,500,000	委	AMED委託費(次世代がん)
32	ヒト腫瘍組織、正常組織の採取と解析試料作成と腫瘍浸潤各種免疫担当細胞の解析	北野滋久	有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部	2,615,385	委	AMED委託費(次世代がん)
33	NGS技術を駆使した遺伝学的解析にせる家族性乳がんの原因遺伝子と同定と標準化医療構築	大野真司	有明病院 乳腺センター	45,512,308	委	AMED委託費(次世代がん)
34	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	布部創也	有明病院 消化器外科	600,000	委	国がん研究開発費
35	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	寺内隆司	有明病院 核医学部	2,500,000	委	国がん研究開発費
36	人工知能を有する統合がん診療支援システム	小口正彦	有明病院 副院長	175,432,745	補	医薬基盤・健康・栄養研究所(SIP)プログラム
37	小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	大野真司	有明病院 乳腺センター	200,000	補	厚労科研補助金
38	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	高橋俊二	有明病院 総合腫瘍科	500,000	補	厚労科研補助金

39	がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療体制の均てん化にむけた臨床研究—がん医療の充実を志向して	青木洋一	有明病院 婦人科	1,500,000	補	厚労科研補助金
40	BRCAnessを利用した遺伝性乳がんの病原性予測・薬物療法効果予測法の確立	上野貴之	有明病院 乳腺外科	100,000	補	文科省科研費
41	がんクリニカルシーケンス解析に基づいた「骨軟部腫瘍分子標的」の作用機序解明	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
42	スマートデバイスを用いたマイクロサージャリートレーニングシステムの開発	辛川領	有明病院 形成外科	600,000	補	文科省科研費
43	レーザーパルスジェットメスと血流画像計測を用いた形成外科皮弁形成術術中支援システム	矢野智之	有明病院 形成外科	100,000	補	文科省科研費
44	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	渡邊雅之	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
45	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	今村裕	有明病院 消化器外科	50,000	補	文科省科研費
46	間質応答を利用したホルモン受容体陽性乳がんの治療戦略の構築	上野貴之	有明病院 乳腺外科	1,100,000	補	文科省科研費
47	個別化医療のための人工知能・深層学習に対する統計学的評価法の開発	牛嶋大	有明病院 臨床研究・開発センター	100,000	補	文科省科研費
48	骨軟部腫瘍の「小胞体ストレス」機能解析に基づいた新規治療法開発	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	70,000	補	文科省科研費
49	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌診断の検討	由雄敏之	有明病院 消化器内科	900,000	補	文科省科研費
50	腎細胞がんにおける炎症と免疫の関連メカニズムの解明とその新規免疫療法への応用	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	50,000	補	文科省科研費
51	先端モデル動物支援プラットフォーム	牛嶋大	有明病院 臨床研究・開発センター	400,000	補	文科省科研費

52	体液試料からのオルガノイドによる化学療法の治療効果予測モデルの有用性	大木暁	有明病院 消化器化学療法科	400,000	補	文科省科研費
53	大規模経時採取検体を用いた大腸がん肝転移巣の化学療法耐性化シグナルシフトの解明	長山聡	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
54	直腸癌微小リンパ節転移検出による革新的直腸癌治療戦略の構築	日吉幸晴	有明病院 大腸外科	1,000,000	補	文科省科研費
55	肥満合併食道癌における癌細胞-脂肪細胞間相互作用の解明と新規治療法の開発	渡邊雅之	有明病院 消化器外科	1,300,000	補	文科省科研費
56	非EBV非MSI-high食道胃接合部腺癌の免疫回避機構解明と新規免疫治療の開発	井田智	有明病院 消化器外科	1,000,000	補	文科省科研費
57	放射線照射により胃がん幹細胞に生じる免疫学的プロファイルの変化	熊谷厚志	有明病院 消化器外科	1,300,000	補	文科省科研費
58	神経内分泌前立腺がんのシングルセル解析による病態解明と新規治療戦略の確立	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
59	Radiogenomicsによる直腸がん放射線化学療法の効果予測マーカーの確立	福長洋介	有明病院 消化器外科	900,000	補	文科省科研費
60	新規免疫治療創出を目指したMSI-low上部消化管腺癌の網羅的免疫・ゲノム解析	今村裕	有明病院 消化器外科	1,700,000	補	文科省科研費
61	子宮頸部腺系病変早期発見のための新しいAI細胞診の確立	杉山裕子	有明病院 細胞診断部	1,000,000	補	文科省科研費
62	遺伝性胃癌における初期病変に着目した病理組織学的特徴とゲノム異常の解明	中野薫	有明病院 病理部	1,200,000	補	文科省科研費
63	蛍光多重免疫組織化学染色を用いた非小細胞肺がんの腫瘍微小免疫環境の解析	水柿秀紀	有明病院 がん免疫治療開発部	2,100,000	補	文科省科研費
64	CDK4/6阻害剤による抗腫瘍免疫応答活性化の解析と新規多剤併用免疫療法への応用	小林隆之	有明病院 乳腺内科	1,000,000	補	文科省科研費

65	術者のコツと経験則を拡張現実を用いて共有するシステムの開発	矢野智之	有明病院 形成外科	400,000	補	文科省科研費
66	乳がんにおけるIL17RBの細胞生物学的・腫瘍免疫学的・臨床的意義の解明	尾崎由記範	有明病院 乳腺内科	700,000	補	文科省科研費
67	nCounterを用いた遺伝子発現解析による肺扁平上皮癌と頭頸部癌肺転移の鑑別	一瀬淳二	有明病院 呼吸器外科	1,200,000	補	文科省科研費
68	切除不能肝細胞癌におけるテクスチャー解析による分子標的薬への治療変更指標の確立	佐藤洋造	有明病院 超音波診断・IVR部	1,500,000	補	文科省科研費
69	IPF合併肺癌の機序解明につながる非侵襲的Exosome解析	山道堯	有明病院 呼吸器外科	1,500,000	補	文科省科研費
70	Development of training and simulation programs for tracheobronchial reconstruction surgery using a three-dimensional operable airway model from clinical computed tomography data	橋本浩平	有明病院 呼吸器外科	1,800,000	補	文科省科研費
71	肉腫における腫瘍内免疫応答の解析に基づく最適な複合的免疫療法の検討	佐藤靖祥	有明病院 総合腫瘍科	1,300,000	補	文科省科研費
72	若年発症舌がんに対する臨床的特徴と遺伝学的背景に関する検討	大本晃弘	有明病院 総合腫瘍科	410,000	補	文科省科研費
73	狭帯域光併用エンドサイトスコープによる胃癌の診断法と診断性能の検討	堀内裕介	有明病院 上部消化管内科	150,000	補	文科省科研費
74	生検組織を用いたリン酸化シグナル解析によるがん多様性機序の解明と精密医療への応用	長山聡	有明病院 消化器外科	150,000	補	文科省科研費
75	抗横紋筋抗体の病因論的自己抗体としての意義とPD-1ミオパチーの疾患概念の確立	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	50,000	補	文科省科研費
76	分子疫学研究による胆のうがんリスク要因の解明	笹平直樹	有明病院 消化器内科	50,000	補	文科省科研費
77	バイオマーカーに沿ったスタチン併用大腸癌治療法の開発	日吉幸晴	有明病院 大腸外科	100,000	補	文科省科研費

78	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	今村裕	有明病院 消化器外科	400,000	補	文科省科研費
79	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	日吉幸晴	有明病院 大腸外科	100,000	補	文科省科研費
80	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	金尾祐之	有明病院 婦人科	80,000	補	文科省科研費
81	中小規模病院看護師へのフィジカルイグザミネーション学習機会の提供方法の開発と評価	中山章子	有明病院 看護部	100,000	補	文科省科研費
82	人工知能(AI)の利用がもたらす生命倫理問題—全体像把握と今後の研究方向提示	平澤俊明	有明病院 消化器内科	200,000	補	文科省科研費
83	オンライン遺伝診療:家系単位での遺伝医療を実現する遠隔診療ネットワークの構築	植木有紗	有明病院 臨床遺伝医療部	400,000	補	文科省科研費

6

計 83 件

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なもの
 - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること
 - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ikenoyama, Y., Yoshio, T., Tokura, J., et al.	上部消化管内科	Artificial intelligence diagnostic system predicts multiple Lugol-voiding lesions in the esophagus and patients at high risk for esophageal squamous cell carcinoma	Endoscopy. 2021 Nov; 53: 1105-1113	Original Article
2	Yamada, Y., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	A novel laser-cut fully covered metal stent with anti-reflux valve in patients with malignant distal biliary obstruction refractory to conventional covered metal stent	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences. 2022 Jul; 28: 563-571	Original Article
3	Nunobe, S., Ri, M., Yamazaki, K., et al.	胃外科	Safety and feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for duodenal neoplasm: A retrospective multicenter study	Endoscopy. 2021 Oct ; 53: 1065-1068	Original Article
4	Shirouchi, Y., Yokoyama, M., Fukuta, T., et al.	血液腫瘍科	Progression-free survival at 24 months as a predictor of survival outcomes after CHOP treatment in patients with peripheral T-cell lymphoma: A single-center validation study in a Japanese population	Leukemia & lymphoma. 2020年度 2021.08; 62: 1869-1876	Original Article
5	Nishio, M., Barlesi, F., West, H., et al.	呼吸器内科	Atezolizumab plus chemotherapy for first-line treatment of non-squamous non-small cell lung cancer: Results from the randomized phase III IMpower132 trial	Journal of thoracic oncology. 2021 Apr; 16: 653-664	Original Article
6	Oba, A., Croce, C., Hosokawa, P., et al.	肝胆膵外科	Prognosis based definition of resectability in pancreatic cancer: A road map to new guidelines	Annals of Surgery. 2022 Jan; 275: 175-181	Original Article
7	Takahashi, S., Karayama, M., Takahashi, M., et al.	総合腫瘍科	Pharmacokinetics, safety, and efficacy of trastuzumab deruxtecan with concomitant ritonavir or itraconazole in patients with HER2-expressing advanced solid tumors	Clinical cancer research. 2021 Nov; 27: 5771-5780	Original Article
8	Sasaki, T., Takeda, T., Yasue, C., et al.	肝胆膵内科	Endoscopic removal of two duodenal stents that had migrated into the colon, using the invagination method	Endoscopy. 2021 Jun (オンライン); 53: E209-E210	Case Report
9	Osumi, H., Vecchione, L., Keilholz, U., et al.	消化器化学療法科	NeoRAS wild-type in metastatic colorectal cancer: Myth or truth?-Case series and review of the literature	European journal of cancer. 2021 Jun; 153: 86-95	Original Article
10	Yoshizawa, T., Uchibori, K., Araki, M., et al.	呼吸器内科	Microsecond-timescale MD simulation of EGFR minor mutation predicts the structural flexibility of EGFR kinase core that reflects EGFR inhibitor sensitivity	NPJ precision oncology. 2021 Apr; 5: 32	Original Article
11	Ohmoto, A. and Fuji, S.	総合腫瘍科	Clinical features and treatment strategies for post-transplant and iatrogenic-associated lymphoproliferative disorders	Blood Reviews. 2021. Sep; 49: 100807	Review
12	Ooki, A. and Yamaguchi, K.	消化器化学療法科	The dawn of precision medicine in diffuse-type gastric cancer	Therapeutic advances in medical oncology. 2022 Mar (オンライン); 14: 17588359221083049	Review
13	Ohmoto, A., Sato, Y., Asaka, R., et al.	総合腫瘍科	Clinicopathological and genomic features in patients with head and neck neuroendocrine carcinoma	Modern pathology. 2021. Nov; 34: 1979-1989	Original Article
14	Ikarashi, D., Kitano, S., Tsuyukubo, T., et al.	がん免疫治療開発部	Pretreatment tumour immune microenvironment predicts clinical response and prognosis of muscle-invasive bladder cancer in the neoadjuvant chemotherapy setting	British journal of cancer. 2022 Mar; 126: 606-614	Original Article
15	Takeda, K., Nakano, K., Udagawa, S., et al.	総合診療部	Chilblain lupus-like cutaneous reaction associated with systemic lupus erythematosus induced by immune checkpoint inhibitor	Rheumatology (Oxford). 2021 Dec (オンライン); 61: e13-e14	Case Report
16	Sasaki, T., Takeda, T. and Sasahira, N.	肝胆膵内科	Removal of a biliary self-expandable metal stent using the zipline technique for pancreatic cancer with duodenal stricture	Digestive endoscopy. 2022 Jan(オンライン); 34: e26-e27	Others
17	Mine, S., Kurokawa, Y., Takeuchi, H., et al.	食道外科	Postoperative complications after a transthoracic esophagectomy or a transhiatal gastrectomy in patients with esophagogastric junctional cancers: a prospective nationwide multicenter study	Gastric Cancer. 2022 Mar; 25: 430-437	Original Article
18	Muneoka, Y., Ohashi, M., Ishizuka, N., et al.	胃外科	Risk factors and oncological impact of positive resection margins in gastrectomy for cancer: are they salvaged by an additional resection?	Gastric Cancer. 2022 Jan; 25: 287-296	Original Article
19	Muneoka, Y., Ohashi, M., Kurihara, N., et al.	胃外科	Short- and long-term oncological outcomes of totally laparoscopic gastrectomy versus laparoscopy-assisted gastrectomy for clinical stage I gastric cancer	Gastric Cancer. 2021 Sep; 24: 1140-1149	Original Article

20	Ooki, A. and Yamaguchi, K.	消化器化学療法科	The beginning of the era of precision medicine for gastric cancer with fibroblast growth factor receptor 2 aberration	Gastric Cancer. 2021 Nov; 24: 1169-1183	Review
21	Yamaguchi, K., Boku, N., Muro, K., et al.	消化器化学療法科	Real-world safety and effectiveness of nivolumab in Japanese patients with unresectable advanced or recurrent gastric/gastroesophageal junction cancer that has progressed after chemotherapy: a postmarketing surveillance study	Gastric Cancer. 2022 Jan; 25: 245-253	Original Article
22	Murakami, Y., Soyano, T., Kozuka, T., et al.	放射線治療部	Dose-based radiomic analysis (dosimomics) for intensity-modulated radiotherapy in patients with prostate cancer: Correlation between planned dose distribution and biochemical failure	International journal of radiation oncology, biology, physics. 2022 Jan; 112: 247-259	Original Article
23	Inoue, Y., Ito, H. and Takahashi, Y.	肝胆膵外科	Anatomical classification alone is not sufficient for optimal patient selection for neoadjuvant therapy versus upfront resection	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences. 2021 Apr; 28: e15-e16	Letter
24	Oba, A., Wu, Y. H. A., Lieu, C. H., et al.	肝胆膵外科	Outcome of neoadjuvant treatment for pancreatic cancer in elderly patients: Comparative, observational cohort study	British journal of surgery. 2021 Aug; 108: 976-982	Original Article
25	Ariyasu, R., Uchibori, K., Sasaki, T., et al.	呼吸器内科	Monitoring epidermal growth factor receptor C797S mutation in Japanese non-small cell lung cancer patients with serial cell-free DNA evaluation using digital droplet PCR	Cancer Science. 2021 Jun; 112: 2371-2380	Original Article
26	Nishio, M., Saito, H., Goto, K., et al.	呼吸器内科	IMpower132: Atezolizumab plus platinum-based chemotherapy vs chemotherapy for advanced NSCLC in Japanese patients	Cancer science. 2021 Apr; 112: 1534-1544	Original Article
27	Takahashi, S., Fujiwara, Y., Nakano, K., et al.	総合腫瘍科	Safety and pharmacokinetics of milademetan, a MDM2 inhibitor, in Japanese patients with solid tumors: A phase I study	Cancer Science. 2021 Jun; 112: 2361-2370	Original Article
28	Terui, Y., Rai, S., Izutsu, K., et al.	血液腫瘍科	A phase 2 study of polatuzumab vedotin + bendamustine + rituximab in relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma	Cancer Science. 2021 Jul; 112: 2845-2854	Original Article
29	Shimozaki, K., Nakayama, I., Takahari, D., et al.	消化器化学療法科	A novel clinical prognostic index for patients with advanced gastric cancer: possible contribution to the continuum of care	ESMO Open. 2021 Aug; 6 (オンライン): 100234	Original Article
30	Osako, T., Kurisaki-Arakawa, A., Dobashi, A., et al.	病院病理部	Distinct clinicopathologic features and possible pathogenesis of localized ALK-positive histiocytosis of the breast	American journal of surgical pathology. 2022 Mar; 46: 344-352	Case Reports
31	Saito, R., Ninomiya, H., Okumura, S., et al.	病院病理部	Novel histologic classification of small tumor cell nests for lung adenocarcinoma with prognostic and etiological significance: Small solid nests and pure micropapillary nests	American journal of surgical pathology. 2021 May; 45: 604-615	Original Article
32	Urasaki, T., Ono, M., Mochizuki, T., et al.	総合腫瘍科	Case report: A case of trimethoprim/sulfamethoxazole-triggered hypotensive shock: Cytokine release syndrome related to immune checkpoint inhibitors and drug-induced hypersensitivity syndrome.	Frontiers in oncology. 2021 Apr; 11: 681997	Case Reports
33	Nakano, K.	総合腫瘍科	Challenges of systemic therapy investigations for bone sarcomas	International journal of molecular sciences. 2022 Mar; 23: 3540	Review
34	Kasuga, A., Okamoto, T., Udagawa, S., et al.	肝胆膵内科	Molecular features and clinical management of hereditary pancreatic cancer syndromes and familial pancreatic cancer.	International journal of molecular sciences. 2022 Jan; 23: 1205	Review
35	Ueki, A., Sugano, K., Misu, K., et al.	臨床遺伝医療部	Germline whole-gene deletion of FH diagnosed from tumor profiling	International journal of molecular sciences. 2021 Jul; 22: 7962	Case Report
36	Ri, M., Nunobe, S., Ida, S., et al.	胃外科	Preliminary prospective study of real-time post-gastrectomy glycemic fluctuations during dumping symptoms using continuous glucose monitoring	World journal of gastroenterology. 2021 Jun; 27: 3386-3395	Original Article
37	Fuse, Y., Karakawa, R., Yano, T., et al.	形成外科	Lymph-venous anastomosis for breast cancer-related lymphoedema after docetaxel-based chemotherapy.	Journal of clinical medicine. 2022 Mar (オンライン); 11: 1409	Original Article
38	Kanao, H., Aoki, Y., Fusegi, A., et al.	婦人科	Feasibility and outcomes of "no-look no-touch" laparoscopic radical trachelectomy for early-stage cervical cancer.	Journal of clinical medicine. 2021 Sep (オンライン); 10: 4154	Original Article
39	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Kamiya, K., et al.	形成外科	Supermicrosurgical suture-stent technique for a lymphaticovenular bypass	Journal of clinical medicine. 2021 Jun (オンライン); 10: 2595	Original Article
40	Sasaki, T., Takeda, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Chemotherapy for biliary tract cancer in 2021	Journal of clinical medicine. 2021 Jul (オンライン); 10: 3108	Review

41	Sasaki, T., Yoshida, S., Isayama, H., et al.	肝胆膵内科	Short-term outcomes of colorectal stenting using a low axial force self-expandable metal stent for malignant colorectal obstruction: A Japanese multicenter prospective study	Journal of clinical medicine. 2021 Nov (オンライン); 10: 4936	Original Article
42	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Endoscopic double stenting for the management of combined malignant biliary and duodenal obstruction	Journal of clinical medicine. 2021 Jul (オンライン); 10: 3572	Review
43	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	Simultaneous lymphatic superficial circumflex iliac artery perforator flap transfer from the zone 4 region in autologous breast reconstruction using the deep inferior epigastric artery perforator flap: A proof-of-concept study	Journal of clinical medicine. 2022 Jan (オンライン); 11: 534	Original Article
44	Amori, G., Sugawara, E., Shigematsu, Y., et al.	病院病理部	Tumor B7-H3 expression in diagnostic biopsy specimens and survival in patients with metastatic prostate cancer	Prostate cancer and prostatic diseases. 2021 Sep; 24: 767-774	Original Article
45	Ohmoto, A. and Fujii, S.	総合腫瘍科	Cardiac complications associated with hematopoietic stem-cell transplantation	Bone Marrow Transplantation. 2021 Nov; 56: 2637-2643	Review
46	Kanao, H., Aoki, Y., Omi, M., et al.	婦人科	Laparoscopic pelvic exenteration and laterally extended endopelvic resection for postradiation recurrent cervical carcinoma: Technical feasibility and short-term oncologic outcome	Gynecologic oncology. 2021 Apr; 161: 34-38	Original Article
47	Inoue, Y., Saiura, A., Sato, T., et al.	肝胆膵外科	Details and outcomes of distal pancreatectomy with celiac axis resection preserving the left gastric arterial flow	Annals of surgical oncology. 2021 Dec; 28: 8283-8294	Original Article
48	Kanie, Y., Okamura, A., Asari, T., et al.	食道外科	Additional treatment following noncurative endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma: A comparison of outcomes between esophagectomy and chemoradiotherapy	Annals of surgical oncology. 2021 Dec; 28: 8428-8435	Original Article
49	Kanie, Y., Okamura, A., Maruyama, S., et al.	食道外科	Clinical significance of serum squamous cell carcinoma antigen for patients with recurrent esophageal squamous cell carcinoma.	Annals of surgical oncology. 2021.11; 28: 7990-7996	Original Article
50	Maruyama, S., Okamura, A., Imamura, Y., et al.	食道外科	Comparison of outcomes between additional esophagectomy after noncurative endoscopic resection and upfront esophagectomy for T1N0 esophageal squamous cell carcinoma	Annals of surgical oncology. 2021 Sep; 28: 4859-4866	Original Article
51	Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., et al.	食道外科	Influence of damaged stomach on anastomotic leakage following cervical esophagogastrostomy in patients with esophageal cancer	Annals of surgical oncology. 2021 Nov; 28: 7240-7246	Original Article
52	Sawada, R., Akiyoshi, T., Kitagawa, Y., et al.	大腸外科	Systemic inflammatory markers combined with tumor-infiltrating lymphocyte density for the improved prediction of response to neoadjuvant chemoradiotherapy in rectal cancer.	Annals of surgical oncology. 2021 Nov; 28: 6189-6198	Original Article
53	Watanabe, M.	食道外科	Additional esophagectomy following noncurative endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma: Is it a reasonable strategy?	Annals of surgical oncology. 2021 Nov; 28: 6923-6924	Others
54	Watanabe, G., Ushida, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Impact of tumor size on the outcomes of patients with resectable distal pancreatic cancer: Lessons learned from a series of 158 radical resections	Annals of surgical oncology. 2022 Jan; 29: 378-388	Original Article
55	Fukuda, N. and Takahashi, S.	総合腫瘍科	Clinical indications for treatment with multi-kinase inhibitors in patients with radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer	Cancers (Basel). 2021 May (オンライン); 13: 2279	Review
56	Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., et al.	肝胆膵外科	Radical resection for locally advanced pancreatic cancers in the era of new neoadjuvant therapy-arterial resection, arterial divestment and total pancreatectomy	Cancers (Basel). 2021 Apr (オンライン); 13: 1818	Review
57	Nagayama, S., Low, S. K., Kiyotani, K., et al.	大腸外科	Precision medicine for colorectal cancer with liquid biopsy and immunotherapy	Cancers (Basel). 2021 Sep (オンライン); 13: 4992	Review
58	Ono, Y., Inoue, Y., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	Sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein resection: Pathogenesis and its prevention	Cancers (Basel). 2021 Nov (オンライン); 13: 5334	Review
59	Ozaki, Y., Miura, S., Oki, R., et al.	乳腺内科	Neuroendocrine neoplasms of the breast: The latest WHO classification and review of the literature	Cancers (Basel). 2021 Dec (オンライン); 14: 196	Review
60	Sato, Y., Nakano, K., Wang, X., et al.	総合腫瘍科	Pre-treatment neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR) as a predictive marker of pazopanib treatment for soft-tissue sarcoma	Cancers (Basel). 2021 Dec (オンライン); 13: 6266	Original Article
61	Fusegi, A., Kanao, H., Ishizuka, N., et al.	婦人科	Oncologic outcomes of laparoscopic radical hysterectomy using the no-look no-touch technique for early stage cervical cancer: A propensity score-adjusted analysis	Cancers (Basel). 2021 Dec (オンライン); 13: 6097	Original Article

62	Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Prognostic impact and distinctive characteristics of surgically resected anaplastic lymphoma kinase-rearranged lung adenocarcinoma	Journal of thoracic and cardiovascular surgery. 2022 Feb; 163: 441-451,e.1	Original Article
63	Okamura, A., Watanabe, M., Mukoyama, N., et al.	食道外科	A nationwide survey on digestive reconstruction following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: A multicenter retrospective study in Japan	Annals of gastroenterological surgery. 2022 Feb; 6: 54-62	Original Article
64	Ri, M., Kumagai, K., Namikawa, K., et al.	胃外科	Is proximal gastrectomy indicated for locally advanced cancer in the upper third of the stomach?	Annals of gastroenterological surgery. 2021 Nov; 5: 767-775	Original Article
65	Fukada, I., Ito, Y., Kondo, N., et al.	乳腺内科	A phase II study of sequential treatment with anthracycline and taxane followed by eribulin in patients with HER2-negative, locally advanced breast cancer (JBCRG-17)	Breast cancer research and treatment. 2021 Dec; 190: 425-434	Original Article
66	Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., et al.	呼吸器外科	A reasonable definition of oligo-recurrence in non-small-cell lung cancer.	Clinical lung cancer. 2022 Jan; 23: 82-90	Original Article
67	Fukuoka, H., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Lymph node mapping in transverse colon cancer treated using laparoscopic colectomy with D3 lymph node dissection	Diseases of the colon and rectum. 2022 Mar; 65: 340-352	Original Article
68	Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Safety of small circular staplers in double stapling technique anastomosis for sigmoid colon and rectal cancer	Diseases of the colon and rectum. 2021 Aug; 64: 937-945	Original Article
69	Ide, D., Ohya, T. R., Saito, S., et al.	下部消化管内科	Clinical utility of the pocket-creation method with a traction device for colorectal endoscopic submucosal dissection	Surgical endoscopy. 2021 May; 35: 2110-2118	Original Article
70	Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., et al.	胃外科	Intraoperative conversion from laparoscopic gastrectomy to an open procedure: A decade of experience in a Japanese high-volume center	Surgical endoscopy. 2021 Apr; 35: 1834-1842	Original Article
71	Nakanishi, R., Fukunaga, Y., Mukai, T., et al.	大腸外科	Educational system for acquiring appropriate laparoscopic colorectal surgical skills: Analysis in a Japanese high-volume cancer center	Surgical endoscopy. 2021 Jun; 36: 2660-2666	Original Article
72	Ohmoto, A. and Fuji, S.	総合腫瘍科	Clinical feasibility of oral low-dose etoposide and sobuzoxane for conventional chemotherapy-intolerant lymphoma patients	Expert review of anticancer therapy. 2021 Jul; 21: 715-722	Review
73	Osako, T.	病院病理部	How can we better distinguish metastatic tumors from primary tumors in the breast?	Expert review of anticancer therapy. 2021 Sep; 21: 913-916	Others
74	Kitagawa, Y., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., et al.	大腸外科	Tumor-infiltrating PD-1+ immune cell density is associated with response to neoadjuvant chemoradiotherapy in rectal cancer	Clinical colorectal cancer. 2022 Mar (オンライン); 21: e1-e11	Original Article
75	Osumi, H., Shinozaki, E., Ooki, A., et al.	消化器化学療法科	Correlation between circulating tumor DNA and carcinoembryonic antigen levels in patients with metastatic colorectal cancer	Cancer Medicine. 2021 Dec; 10: 8820-8828	Original Article
76	Ozaki, Y., Aoyama, Y., Masuda, J., et al.	乳腺内科	Trastuzumab and fulvestrant combination therapy for women with advanced breast cancer positive for hormone receptor and human epidermal growth factor receptor 2: a retrospective single-center study	BMC Cancer. 2022 Jan; 22: 36	Original Article
77	Takeda, K., Harada, S., Hayama, B., et al.	感染症科	Clinical characteristics and risk factors associated with Pneumocystis jirovecii infection in patients with solid tumors: Study of thirteen-year medical records of a large cancer center	BMC Cancer. 2021 Sep; 21: 987	Original Article
78	Yokoyama, M., Kusano, Y., Inoue, N., et al.	血液腫瘍科	Factors for the optimal selection of granulocyte colony-stimulating factor preparations and predictors for R-CHOP dose reductions/delays among patients with non-Hodgkin B-cell lymphoma (STOP FN in NHL 2 subanalysis)	BMC Cancer. 2021 Apr; 21: 358	Original Article
79	Akiyoshi, T., Yamaguchi, T., Hiratsuka, M., et al.	大腸外科	Oncologic impact of lateral lymph node metastasis at the distal lateral compartment in locally advanced low rectal cancer after neoadjuvant (chemo)radiotherapy	European journal of surgical oncology 2021 Dec; 47: 3157-3165	Original Article
80	Kano, Y., Ohashi, M., Muneoka, Y., et al.	胃外科	Different risk factors for three major recurrence patterns of pathological stage II or III gastric cancer patients who completed adjuvant S-1 monotherapy	European journal of surgical oncology 2021 Dec; 47: 3097-3104	Original Article
81	Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., et al.	ゲノム診療部	Assessment of a cancer genomic profile test for patients with metastatic breast cancer	Scientific reports. 2022 Mar (オンライン); 12: 4813	Original Article
82	Kanno, M., Yunokawa, M., Nakabayashi, M., et al.	婦人科	Prognosis and adjuvant chemotherapy for patients with positive peritoneal cytology in stage IA endometrial cancer	Scientific reports. 2022 Jan (オンライン); 12: 166	Original Article
83	Maeshima, Y., Sakai, T., Ogiya, A., et al.	乳腺外科	Assessment of axillary node status by ultrasound after neoadjuvant chemotherapy in patients with clinically node-positive breast cancer according to breast cancer subtype	Scientific reports. 2021 May (オンライン); 11: 10858	Original Article

84	Shiroma, S., Yoshio, T., Kato, Y., et al.	上部消化管内科	Ability of artificial intelligence to detect T1 esophageal squamous cell carcinoma from endoscopic videos and the effects of real-time assistance	Scientific reports. 2021 Apr (オンライン); 11: 7759	Original Article
85	Takamatsu, M., Yamamoto, N., Kawachi, H., et al.	病院病理部	Prediction of lymph node metastasis in early colorectal cancer based on histologic images by artificial intelligence	Scientific reports. 2022 Feb (オンライン); 12: 2963	Original Article
86	Yamada, I., Morizane, C., Okusaka, T., et al.	肝胆膵内科	The clinical outcomes of combination chemotherapy in elderly patients with advanced biliary tract cancer: an exploratory analysis of JCOG1113	Scientific reports. 2022 Jan (オンライン); 12: 987	Original Article
87	Yamamichi, T., Ichinose, J., Iwamoto, N., et al.	呼吸器外科	Correlation between smoking status and short-term outcome of thoracoscopic surgery for lung cancer	Annals of thoracic surgery. 2022 Feb; 113: 459-465	Original Article
88	Takahashi, S.	総合腫瘍科	Fatigue and its management in cancer patients undergoing VEGFR-TKI therapy	Expert opinion on drug safety. 2022 Mar; 21: 397-406	Review
89	Hatamori, H., Yoshio, T., Tokai, Y., et al.	上部消化管内科	Efficacy of endoscopic filling with polyglycolic acid sheets and fibrin glue for anastomotic leak after esophageal cancer surgery: Identification of an optimal technique	Esophagus. 2021 Jul; 18: 529-536	Original Article
90	Otake, R., Okamura, A., Yamashita, K., et al.	食道外科	Efficacy of postoperative radiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma patients with positive circumferential resection margin	Esophagus. 2021 Apr; 18: 288-295	Original Article
91	Takahashi, K., Watanabe, M., Ushida, Y., et al.	食道外科	Comparison of the outcomes between total eversion and conventional triangulating stapling technique in cervical esophagogastric anastomosis after esophagectomy: A propensity score-matched analysis	Esophagus. 2021 Jul; 18: 475-481	Original Article
92	Watanabe, M., Toh, Y., Ishihara, R., et al.	食道外科	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2014	Esophagus. 2022 Jan; 19: 1-26	Original Article
93	Suenaga, M., Zhang, W. U., Mashima, T., et al.	消化器化学療法科	Potential molecular cross talk among CCR5 pathway predicts regorafenib responsiveness in metastatic colorectal cancer patients.	Cancer genomics & proteomics. 2021 May; 18: 317-324	Original Article
94	Shiroma, S., Hatta, W., Tsuji, Y., et al.	上部消化管内科	Timing of bleeding and thromboembolism associated with endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in Japan	Journal of gastroenterology and hepatology. 2021 Nov; 36: 2769-2777	Original Article
95	Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	Improved prognosis of pancreatic cancer patients with peritoneal metastasis	Pancreatology. 2021 Aug; 21: 903-911	Original Article
96	Hayashi, N., Sato, Y., Fujiwara, Y., et al.	総合腫瘍科	Clinical impact of cachexia in head and neck cancer patients who received chemoradiotherapy	Cancer management and research. 2021 Nov; 13: 8377-8385	Original Article
97	Toshima, F., Watanabe, R., Inoue, D., et al.	画像診断部	CT abnormalities of the pancreas associated with the subsequent diagnosis of clinical stage I pancreatic ductal adenocarcinoma more than one year later: A case-control study	American journal of roentgenology. 2021 Dec; 217: 1353-1364	Original Article
98	Kogawa, T., Sato, Y., Shimoyama, R., et al.	がん早期臨床開発部	Chemoprevention of pancreatic cancer by inhibition of glutathione-S transferase P1	Investigational new drugs. 2021 Dec; 39: 1484-1492	Original Article
99	Tajima, J. Y., Nagayama, S., Hiyoshi, Y., et al.	大腸外科	Colonic delta-shaped anastomosis using linear staplers in laparoscopic colectomy	Techniques in coloproctology. 2021 Apr; 25: 473-474	Original Article
100	Ri, M., Nunobe, S., Ida, S., et al.	胃外科	Postprandial asymptomatic glycemic fluctuations after gastrectomy for gastric cancer using continuous glucose monitoring device	Journal of gastric cancer. 2021 Dec; 21: 325-334	Original Article
101	Suto, H., Inui, Y. and Okamura, A.	総合腫瘍科	Predicting chemotherapy-related adverse events in elderly cancer patients with prior anticancer therapy	Current oncology. 2022 Mar; 29: 2185-2192	Original Article
102	Usui, Y., Miura, T., Kawaguchi, T., et al.	緩和治療科	Palliative care physicians' recognition of patients after immune checkpoint inhibitors and immune-related adverse events	Supportive care in cancer 2022 Jan; 30: 775-784	Original Article
103	Nakano, S., Suzuki, T., Takase, Y., et al.	核医学部	Pseudocirrhosis caused by lung adenocarcinoma with diffuse liver metastasis: An autopsy case report	Thoracic cancer. 2021 Jul; 12: 2046-2049	Case Reports
104	Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., et al.	呼吸器外科	Comparison of local therapy in patients with lung oligo-recurrence of non-small-cell lung cancer	Journal of surgical oncology. 2021 May; 123: 1828-1835	Original Article
105	Emoto, S., Akiyoshi, T., Mukai, T., et al.	大腸外科	Surgical outcomes of rectal gastrointestinal stromal tumor in the era of imatinib	Journal of gastrointestinal surgery 2021 Nov; 25: 2963-2965	Letter
106	Nomura, R. and Ito, H.	肝胆膵外科	A large hypervascular mesenteric mass	Journal of gastrointestinal surgery 2021 Aug; 25: 2150-2151	Others
107	Ri, M., Nunobe, S., Makuuchi, R., et al.	胃外科	Key factors for maintaining postoperative skeletal muscle mass after laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique reconstruction for early gastric cancer	Journal of gastrointestinal surgery. 2021 Jun; 25: 1569-1572	Original Article

108	Irie, S., Yoshioka, R., Imamura, H., et al.	肝胆膵外科	Parachute technique for portal vein reconstruction during pancreaticoduodenectomy with portal vein resection in patients with pancreatic head cancer	Langenbeck's archives of surgery. 2022 Feb; 407: 383-389	Original Article
109	Kanamori, J., Watanabe, M., Kozuki, R., et al.	食道外科	Successful transition from open to minimally invasive approach in Ivor Lewis esophagectomy: A single-center experience in Japan	Langenbeck's archives of surgery. 2021 Aug; 406: 1407-1414	Original Article
110	Shoji, Y., Kumagai, K., Ida, S., et al.	胃外科	Features of the complications for intracorporeal Billroth-I and Roux-en-Y reconstruction after laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer	Langenbeck's archives of surgery. 2021 Aug; 406: 1425-1432	Original Article
111	Fukagawa, E., Yamamoto, S., Ohde, S., et al.	泌尿器科	External validation of the Briganti 2019 nomogram to identify candidates for extended pelvic lymph node dissection among patients with high-risk clinically localized prostate cancer	International journal of clinical oncology. 2021 Sep; 26: 1736-1744	Original Article
112	Hiyoshi, Y., Mukai, T., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Treatment outcome of laparoscopic surgery after self-expandable metallic stent insertion for obstructive colorectal cancer	International journal of clinical oncology. 2021 Nov; 26: 2029-2036	Original Article
113	Nomura, H., Ikki, A., Fusegi, A., et al.	婦人科	Clinical and pathological outcomes of risk-reducing salpingo-oophorectomy for Japanese women with hereditary breast and ovarian cancer	International journal of clinical oncology. 2021 Dec; 26: 2331-2337	Original Article
114	Takahashi, S., Takekuma, M., Tamura, K., et al.	総合腫瘍科	A phase I study of combined trabectedin and pegylated liposomal doxorubicin therapy for advanced relapsed ovarian cancer	International journal of clinical oncology. 2021 Nov; 26: 1977-1985	Original Article
115	Takeda, T., Sasaki, T., Suzumori, C., et al.	肝胆膵内科	The impact of cachexia and sarcopenia in elderly pancreatic cancer patients receiving palliative chemotherapy	International Journal of Clinical Oncology. 2021 Jul; 28: 1293-1303	Original Article
116	Tominaga, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Improved oncologic outcomes with increase of laparoscopic surgery in modified complete mesocolic excision with D3 lymph node dissection for T3/4a colon cancer: Results of 1191 consecutive patients during a 10-year period: A retrospective cohort study	International journal of clinical oncology. 2021 May; 26: 893-902	Original Article
117	Kawano, F., Mise, Y., Yamamoto, J., et al.	肝胆膵外科	Hepatic vein resection and reconstruction for liver malignancies: Expanding indication and enhancing parenchyma-sparing hepatectomy	BJS Open. 2021 Nov (オンライン); 5: zrab121	Letter
118	Fujiwara, M., Tanaka, H., Yuasa, T., et al.	泌尿器科	First-line combination chemotherapy with etoposide, ifosfamide and cisplatin for the treatment of disseminated germ cell cancer: Efficacy and feasibility in current clinical practice	International journal of urology. 2021 Sep; 28: 920-926	Original Article
119	Komai, Y., Yamasaki, T., Kanno, T., et al.	泌尿器科	Management of major venous bleeding during minimally invasive pelvic surgery: A proposed protocol for "What should we do next?"	International journal of urology. 2022 Feb; 29: 177-179	Others
120	Izumi, D., Ida, S., Hayami, M., et al.	胃外科	Increased rate of serum prealbumin level after preoperative enteral nutrition as an indicator of morbidity in gastrectomy for gastric cancer with outlet obstruction.	World journal of surgery. 2022 Mar; 46: 624-630	Original Article
121	Maruyama, S., Okamura, A., Ishizuka, N., et al.	食道外科	Airflow limitation predicts postoperative pneumonia after esophagectomy	World journal of surgery. 2021 Apr; 45: 2492-2500	Original Article
122	Muneoka, Y., Ohashi, M., Makuuchi, R., et al.	胃外科	Advantageous short-term outcomes of esophagojejunostomy using a linear stapler following open total gastrectomy compared with a circular stapler	World journal of surgery. 2021 Aug; 45: 2501-2509	Original Article
123	Ri, M., Ohashi, M., Eto, K., et al.	胃外科	Favorable outcomes of neoadjuvant chemotherapy and limited para-aortic lymph node dissection for advanced gastric cancer with para-aortic lymph node metastasis	World journal of surgery. 2021 Sep; 45: 2849-2859	Original Article
124	Takeda, Y., Mise, Y., Matsumura, M., et al.	肝胆膵外科	Accuracy of modern clinical risk score including RAS status changes based on whether patients received perioperative chemotherapy for colorectal liver metastases.	World journal of surgery. 2021 Jul; 45: 2176-2184	Original Article
125	Mie, T., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Comparison of treatment outcomes between gemcitabine with nab-paclitaxel and modified FOLFIRINOX for first-line chemotherapy in metastatic and recurrent pancreatic cancer: Propensity score matching.	Pancreas. 2021 Apr; 50: 595-601	Original Article
126	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., et al.	上部消化管内科	Evaluation of microvascular patterns alone using endocytoscopy with narrow-band imaging for diagnosing gastric cancer	Digestion. 2022 Mar; 103: 159-168	Original Article
127	Inuyama, M., Horiuchi, Y., Yamamoto, N., et al.	上部消化管内科	Usefulness of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for diagnosing mixed poorly differentiated gastric cancers	Digestion. 2021 Nov; 102: 938-945	Original Article
128	Iwamoto, N., Matsuura, Y., Ninomiya, H., et al.	呼吸器外科	Comparison of salvage surgeries for lung adenocarcinoma treated with anaplastic lymphoma kinase-tyrosine kinase inhibitors	Current Problems in Cancer: Case Reports. 2021 Dec; 4: 100089	Case Reports

129	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., et al.	上部消化管内科	Additive effect of evaluating microsurface and microvascular patterns using magnifying endoscopy with narrow-band imaging in gastric cancer: a post-hoc analysis of a single-center observational study	BMC gastroenterology. 2022 Mar(オンライン); 22: 125	Original Article
130	Okamoto, T., Yamamoto, K. and Fukuda, K.	肝胆膵内科	Biliary balloon dilator impaction in a non-dilated bile duct with anatomical variations: a case report	BMC Gastroenterology. 2022 Mar(オンライン); 22: 129	Case Report
131	Yamamoto, T., Gulanbar, A., Hayashi, K., et al.	画像診断部	Is hypervascular papillary renal cell carcinoma present?	Abdominal radiology. 2021 Apr; 46: 1687-1693	Original Article
132	Oba, A., Kato, T., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Extent of venous resection during pancreatotomy-finding the balance of technical possibility and feasibility	Journal of gastrointestinal oncology. 2021 Nov; 12: 2495-2502	Review
133	Kamiimabeppu, D., Osumi, H., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Effect of neutropenia on survival outcomes of patients with metastatic colorectal cancer receiving trifluridine/tipiracil plus bevacizumab	Oncology letters. 2021 Nov (オンライン); 22: 783	Original Article
134	Ohmoto, A. and Fuji, S.	総合腫瘍科	Current status of drug repositioning in hematology	Expert Review of Hematology. 2021 Nov; 14: 1005-1011	Review
135	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	Superficial circumflex iliac artery perforator flap elevation using preoperative high-resolution ultrasonography for vessel mapping and flap design	Journal of Reconstructive Microsurgery. 2022 Mar; 38: 217-220	Review
136	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	Use of preoperative high-resolution ultrasound system to facilitate elevation of the superficial circumflex iliac artery perforator flap.	Journal of reconstructive microsurgery. 2021 Nov; 37: 735-743	Original Article
137	Fujiwara, R., Takemura, K., Fujiwara, M., et al.	泌尿器科	Modified Glasgow Prognostic Score as a predictor of prognosis in metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab	Clinical genitourinary cancer. 2021 Apr (オンライン); 19: e78-e83	Original Article
138	Hatamori, H., Chino, A., Arai, M., et al.	下部消化管内科	Malignant potential of colorectal neoplasms in Lynch syndrome: An analysis of 325 lesions endoscopically treated at a single institute	Japanese journal of clinical oncology. 2021 Apr; 51: 737-743	Original Article
139	Kumagai, K. and Sano, T.	胃外科	Revised points and disputed matters in the eighth edition of the TNM staging system for gastric cancer	Japanese journal of clinical oncology. 2021 Jul; 51: 1024-1027	Review
140	Mie, T., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Treatment outcomes of erlotinib plus gemcitabine as late-line chemotherapy in unresectable pancreatic cancer	Japanese journal of clinical oncology. 2021 Aug; 51: 1316-1422	Original Article
141	Sasamura, K., Soyano, T., Kozuka, T., et al.	放射線治療部	Outcomes of intensity-modulated radiation therapy for intermediate- or high-risk prostate cancer: a single-institutional study	Japanese Journal of Clinical Oncology. 2022 Feb; 52: 170-178	Review
142	Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	The impact of body composition on short-term outcomes of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus S-1 in patients with resectable pancreatic cancer	Japanese journal of clinical oncology. 2021 Apr; 51: 604-611	Original Article
143	Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	The prognostic impact of tumour location and first-line chemotherapy regimen in locally advanced pancreatic cancer	Japanese journal of clinical oncology. 2021 Apr; 51: 728-736	Original Article
144	Yamaguchi, K., Fuse, N., Komatsu, Y., et al.	消化器化学療法科	Phase II study of cetuximab plus S-1/cisplatin therapy in Japanese patients with advanced gastric cancer	Japanese journal of clinical oncology. 2021 May; 51: 879-885	Original Article
145	Hamasaki, S., Fukunaga, Y., Nagayama, S., et al.	大腸外科	Decision-making in postoperative chemotherapy for ovarian metastasis from colorectal cancer: a retrospective single-center study	World journal of surgical oncology. 2021 Jan (オンライン); 20: 28	Original Article
146	Yano, T., Karakawa, R., Shibata, T., et al.	形成外科	Ideal esthetic and functional full-thickness lower eyelid "like with like" reconstruction using a combined Hughes flap and swing skin flap technique	Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery 2021 Nov (オンライン); 74: 3015-3021	Original Article
147	Fujiwara, M., Yuasa, T., Yasuoka, S., et al.	泌尿器科	Serum and hematologic responses after three cycles of cabazitaxel therapy as predictors of survival in castration-resistant prostate cancer	Cancer chemotherapy and pharmacology. 2021 Sep; 88: 525-531	Original Article
148	Kobayashi, K., Sugiyama, E., Shinozaki, E., et al.	薬剤部	Associations among plasma concentrations of regorafenib and its metabolites, adverse events, and ABCG2 polymorphisms in patients with metastatic colorectal cancers	Cancer chemotherapy and pharmacology. 2021 Jun; 87: 767-777	Original Article

149	Akiyoshi, T., Shinozaki, E., Taguchi, S., et al.	大腸外科	Non-operative management after chemoradiotherapy plus consolidation or sandwich (induction with bevacizumab and consolidation) chemotherapy in patients with locally advanced rectal cancer: a multicentre, randomised phase II trial (NOMINATE trial)	BMJ Open. 2022 Mar(オンライン); 12: e055140	Others
150	Murakami, Y., Murakami, Y., Kamima, T., et al.	放射線治療部	Dosimetric comparison between three-dimensional conformal radiotherapy followed by electron beam boost and volumetric modulated arc therapy using concomitant boost for the heart and cardiac segments in patients with left-sided breast cancer at risk for radiation-induced cardiac toxicity	Physica medica. 2022 Mar; 95: 126-132	Original Article
151	Hatori, M., Kawakami, K., Wakatsuki, T., et al.	薬剤部	Association between regorafenib dose and efficacy against metastatic colorectal cancer in a real-world setting	Dose Response. 2021 Nov(オンライン); 19: 15593258211047658	Original Article
152	Kozuki, R., Watanabe, M., Toihata, T., et al.	食道外科	Treatment strategies and outcomes for elderly patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the esophagus	Surgery today. 2022 Mar; 52: 377-384	Original Article
153	Takahashi, Y., Sasahira, N., Sasaki, T., et al.	肝胆膵外科	The role of stent placement above the papilla (inside-stent) as a bridging therapy for perihilar biliary malignancy: An initial experience	Surgery today. 2021 Nov; 51: 1795-1804	Original Article
154	Akiya, M., Osako, T., Morizono, H., et al.	病院病理部	Myofibroblastoma of the breast showing rare palisaded morphology and uncommon desmin- and CD34-negative immunophenotype: A case report	Pathology International. 2021 Aug; 71: 548-555	Case Reports
155	Ishioka, M., Hirasawa, T. and Mishima, Y.	上部消化管内科	Latest trends in the incidence of Helicobacter pylori-uninfected gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma at the Cancer Institute Hospital, Japan	International journal of hematology. 2021 May; 113: 770-771	Letter
156	Sato, T., Osumi, H., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Clinical impact of primary tumor location and RAS, BRAF V600E, and PIK3CA mutations on epidermal growth factor receptor inhibitor efficacy as third-line chemotherapy for metastatic colorectal cancer	Anticancer research. 2021 Aug; 41: 3905-3915	Original Article
157	Shibata, N., Kawakami, K., Shimizu, H., et al.	薬剤部	Investigation of hypersensitivity reactions in carboplatin desensitization therapy.	Anticancer Research. 2022 Feb; 42: 1091-1097	Original Article
158	Tozuka, T., Yanagitani, N., Yoshida, H., et al.	呼吸器内科	Impact of renin-angiotensin system inhibitors on the efficacy of anti-PD-1/PD-L1 antibodies in NSCLC patients	Anticancer research. 2021 Apr; 41: 2093-2100	Original Article
159	Yoshimatsu, H., Miyashita, H., Karakawa, R., et al.	形成外科	Filling the upper pole with the pectoralis major muscle flap in profunda femoris artery perforator flap breast reconstruction	Medicina (Kaunas). 2022 Mar; 58: 458	Original Article
160	Fuse, Y., Yoshimatsu, H., Karakawa, R., et al.	形成外科	Pedicle anterolateral thigh flap transfer for the reconstruction of a large gluteal defect assisted by preoperative computed tomographic angiography and intraoperative indocyanine green angiography: A case report	Microsurgery. 2021 Nov; 41: 777-781	Case Reports
161	Karakawa, R., Yoshimatsu, H. and Yano, T.	形成外科	Coronoidectomy, condylectomy, and free vascularized fibula osteomusculocutaneous flap transfer for severe trismus due to contracture of the oral mucosa and temporomandibular joint ankylosis after maxillectomy: A case report	Microsurgery. 2022 Feb; 42: 187-191	Case Report
162	Karakawa, R., Yano, T. and Yoshimatsu, H.	形成外科	Use of the wearable smart glasses for intraoperative indocyanine green (ICG) lymphography of a lymphatic surgery	Microsurgery. 2021 Nov; 41: 697-698	Letter
163	Yano, T., Yoshimatsu, H., Karakawa, R., et al.	形成外科	Use of a combined SIEA and SCIP based double pedicled abdominal flap for breast reconstruction	Microsurgery. 2021 May; 41: 319-326	Original Article
164	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Scaglioni, M. F., et al.	形成外科	Application of intraoperative indocyanine green angiography for detecting flap congestion in the use of free deep inferior epigastric perforator flaps for breast reconstruction	Microsurgery. 2021 Sep; 41: 522-526	Original Article
165	Fujiwara, Y., Ohmoto, A., Fukuda, N., et al.	総合腫瘍科	Clinical features and outcomes of metastatic pheochromocytoma treated by cytotoxic chemotherapy	Endocrine journal. 2021 Jun; 68: 671-681	Original Article
166	Fukuda, N., Toda, K., Wang, X., et al.	総合腫瘍科	Prognostic significance of 8 weeks' relative dose intensity of lenvatinib in treatment of radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer patients	Endocrine journal. 2021 Jun; 68: 639-647	Original Article
167	Ohmoto, A., Shigematsu, Y., Fukuda, N., et al.	総合腫瘍科	Japanese single-institution analysis of mitotane for patients with adrenocortical carcinoma	Endocrine journal. 2021 Dec; 68: 1383-1390	Original Article
168	Sasaki, T., Mie, T. and Sasahira, N.	肝胆膵内科	Blind spot of enteral stenting for malignant duodenal obstruction due to colon cancer: A rare case of duodenocolonic fistula	Clinical endoscopy. 2021 May; 54: 443-444	Original Article
169	Sasaki, T. and Sasahira, N.	肝胆膵内科	Direct insertion of a short-type single-balloon enteroscope and using a stent retriever to treat difficult bile duct stones in surgically altered anatomy	Clinical endoscopy. 2021 Nov; 54: 937-938	Case Report

170	Kawakami, K., Aoyama, T., Yokokawa, T., et al.	薬剤部	The combined use of 5 or more drugs is a factor influencing lower adherence to S-1 on S-1 and oxaliplatin treatment for advanced gastric cancer.	Biological & Pharmaceutical Bulletin. 2021 Aug; 44: 1075-1080	Original Article
171	Kadoya, Y., Miyati, T., Kobayashi, S., et al.	画像診断部	Evaluation of gravity effect on inferior vena cava and abdominal aortic flow using multi-posture MRI	Acta radiologica 2021 Aug; 62: 1122-1128	Original Article
172	Oyakawa, T., Hua, Z., Ebihara, A., et al.	総合診療部	A rare case of reversible cardiac dysfunction associated with tegafur/gimeracil/oteracil (S-1) therapy	International heart journal. 2021 May; 62: 700-705	Case Reports
173	Fukuda, N., Fujiwara, Y., Wang, X., et al.	総合腫瘍科	Tumor growth rate as a prognostic factor for metastatic or recurrent adenoid cystic carcinoma of the head and neck patients treated with carboplatin plus paclitaxel	European archives of oto-rhino-laryngology. 2021 Aug; 278: 3037-3043	Original Article
174	Nomura, H., Omi, M., Netsu, S., et al.	婦人科	Positive surgical margin is an independent predictor of overall survival of patients with vulvar squamous cell carcinoma	Journal of obstetrics and gynaecology research. 2021 Nov; 47: 3990-3997	Original Article
175	Okamoto, T., Arashiyama, M., Nakamura, K., et al.	肝胆膵内科	Clinical outcomes in acute pancreatitis with relative bradycardia at fever onset	Medicine (Baltimore). 2021 Nov; 100: e27901	Original Article
176	Shigematsu, Y., Kanda, H., Amori, G., et al.	病院病理部	Nonalcoholic non-virus-related hepatocellular carcinoma arising from nonsteatotic liver: Clinical and pathological features	Medicine (Baltimore). 2022 Feb (オンライン); 101: e28746	Original Article
177	Fuse, Y., Yamamoto, T., Kageyama, T., et al.	形成外科	Domino free flap transfer using a superficial circumflex iliac artery perforator flap for the toe flap donor site	Annals of plastic surgery. 2022 Mar (オンライン); 88: 293-297	Original Article
178	Furukawa, T., Ozaka, M., Takamatsu, M., et al.	肝胆膵内科	Ki-67 labeling index variability between surgically resected primary and metastatic hepatic lesions of gastroenteropancreatic neuroendocrine neoplasms	International journal of surgical pathology. 2021 Aug; 29: 475-481	Original Article
179	Kondo, Y., Matsuura, Y., Kawaguchi, Y., et al.	呼吸器外科	Validation of the Japanese National Clinical Database Risk calculator for lung cancer surgery focused on postoperative morbidity	General thoracic and cardiovascular surgery. 2021 Aug; 69: 1222-1229	Original Article
180	Kawaguchi, Y., Matsuura, Y., Kondo, Y., et al.	呼吸器外科	The predictive power of artificial intelligence on mediastinal lymphnode metastasis	General thoracic and cardiovascular surgery. 2021 Dec; 69: 1545-1552	Original Article
181	Nakao, M., Omura, K., Hashimoto, K., et al.	呼吸器外科	Novel three-dimensional image simulation for lung segmentectomy developed with surgeons' perspective	General thoracic and cardiovascular surgery. 2021 Sep; 69: 1360-1365	Original Article
182	Nakao, M., Omura, K., Hashimoto, K., et al.	呼吸器外科	Three-dimensional image simulation for lung segmentectomy from unenhanced computed tomography data	General thoracic and cardiovascular surgery. 2022 Mar; 70: 312-314	Original Article
183	Okamoto, K., Aoki, Y., Kondo, E., et al.	婦人科	Laparoscopic total vaginectomy for isolated vaginal recurrence of cervical cancer or high-grade squamous intraepithelial lesion after hysterectomy: A retrospective, single-centre cohort study	European Journal of Gynaecological Oncology. 2021 Jun; 42: 494-498	Original Article

23

計183件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ikenoyama, Y., Yoshio, T., Tokura, J., et al.	上部消化管内科	Artificial intelligence diagnostic system predicts multiple Lugol-voiding lesions in the esophagus and patients at high risk for esophageal squamous cell carcinoma	Endoscopy. 2021 Nov; 53: 1105-1113	Original Article
2	Yamada, Y., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	A novel laser-cut fully covered metal stent with anti-reflux valve in patients with malignant distal biliary obstruction refractory to conventional covered metal stent	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences. 2022 Jul; 28: 563-571	Original Article
3	Nunobe, S., Ri, M., Yamazaki, K., et al.	胃外科	Safety and feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for duodenal neoplasm: A retrospective multicenter study	Endoscopy. 2021 Oct ; 53: 1065-1068	Original Article

～	Shirouchi, Y., Yokoyama, M., Fukuta, T., et al.	血液腫瘍科	Progression-free survival at 24 months as a predictor of survival outcomes after CHOP treatment in patients with peripheral T-cell lymphoma: A single-center validation study in a Japanese population	Leukemia & lymphoma. 2020年度 2021.08; 62: 1869-1876	Original Article 計 4件
---	---	-------	--	--	-----------------------

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 1. 総則（適用範囲、用語、秘密の保全、モニタリング、監査及び厚生労働大臣等が実施する調査への協力、本手順書の保管及び配付） 2. 倫理審査委員会の業務（設置者の責務、役割・責務、設置及び構成、審査、委員長及び副委員長の責務） 3. 他の研究機関の研究審査等の取り扱い 4. 倫理審査委員会事務局の業務 5. 記録の保存(保存期間、保存場所、廃棄)	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反マネジメントポリシー ・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反の管理に関する規約 ・ 利益相反委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 3回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>研究者倫理に関する講習会（外部講師を招いて実施） ～2021年8月開催</p> <p>ICRweb（e-ラーニング） ～2021年4月～6月に受講</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。また、各コースプログラムのローテーションを希望する医師は、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と学会専門医などの資格を有する指導医を複数名配置し、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

更に、各診療科のカンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	137 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	33 年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	39 年	
高野 利実	乳腺内科	部長	24 年	
丸山 大	血液腫瘍科	部長	23 年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	39 年	
大野 真司	感染症科	部長	38 年	
松本 禎久	緩和治療科	部長	23 年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	24 年	
吉野 公二	皮膚腫瘍科	部長	23 年	
米瀬 淳二	泌尿器科	部長	36 年	
金尾 祐之	婦人科	部長	25 年	
辻 英貴	眼科	部長	30 年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	25 年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	32 年	
上野 貴之	乳腺外科	部長	30 年	
阿江 啓介	整形外科	部長	29 年	
矢野 智之	形成外科	部長	22 年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	34 年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	27 年	
河内 洋	病理部	部長	25 年	
寺嶋 克幸	麻酔科 集中治療部 救急部	部長	29 年	
富塚 健	歯科	部長	36 年	
寺内 隆司	画像診断部	部長	36 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべ

- てのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">① ICLS講習会② BLS講習会 <p>・研修の期間・実施回数・参加人数</p> <ul style="list-style-type: none">① 2021年6月26日（6人）・2021年10月30日（5人）・2022年2月26日（6人）② 2021年4月～2022年3月・30回（219人）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容：がん医療従事者研修会（全てweb形式での開催）</p> <p>・研修の期間・実施回数・参加人数</p> <ul style="list-style-type: none">① 2021年8月21日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会（6人）② 2021年11月27日：東京都緩和ケア研修会（多職種）職種別編 相談職（28人）③ 2021年12月7日：看護師研修会（165人）④ 2022年2月8日～2月27日：診療放射線技師研修会（196人）⑤ 2022年2月19日：放射線腫瘍医研修会（72人）⑥ 2022年3月5日：薬剤師研修会（130人）⑦ 2022年3月12日：がんの薬物療法研修会（112人）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	佐野 武	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室	…病院日誌は、院長室、各診療科医局、処方せんは薬剤部。他、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、患者に係る入院経過の要約及び入院飲料計画書は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本については、診療情報管理室にて保管。 …診療録を病院外に持ち出す際の取り扱いについては、原則、禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術室	
		看護記録	IT推進課	
		検査所見記録	IT推進課	
		エックス線写真	IT推進課	
		紹介状	IT推進課	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	IT推進課			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	…人事部で作成管理。
		高度の医療の提供の実績	先進がん治療開発センター	…先進医療の年度報告をファイル保管。
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課及び高難度新規医療技術管理部	…学術研究委員会の活動記録(議事録等)を保管。
		高度の医療の研修の実績	人事部	…人事部にてファイル保管。
		閲覧実績	各管理責任部署	…開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課	…電子カルテによるシステム管理
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	…医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。	
第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。	

	医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	…各現場からのIALレポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部
	第一号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	第二号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第四号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第五号	医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター
	第六号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
第七号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	
第八号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	
			…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
			…院内感染対策委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
			…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。 …各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
			…医薬品安全管理責任者を配置。
			…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…薬剤部にてファイル保管。
			…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
			…医療機器安全管理責任者を配置。
			…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
			…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 …医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター …院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室 …インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 …診療情報管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプラメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター
他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術	医療クオリティマネジメントセンター		

	的助言の実施状況		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…患者相談室でファイル保管。 …監査コンプライアンス室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者が有する権限に関する状況	総務部	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。 …監査室でファイルにて保管。 …総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	佐野 武	
閲覧担当者氏名	総務部 総務課 山崎周士	
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等	
閲覧の手続の概要		
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <p>・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理のための指針の策定および改訂ならびに職員への周知 2) 医療安全に係る問題の調査および分析 3) 前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案および実施 4) 前号の改善のための方策の職員への周知 5) 改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6) 入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認および病院長への確認結果の報告 7) 前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8) その他、医療に係る安全管理のための業務</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1) 全体研修会：1999年12月28日 私達は忘れないこの日を 2021年6月 e-learning 2021年10月21日</p> <p>2) 医療安全研修会：内視鏡部門における安全な鎮静管理の実践 2021年10月21日</p> <p>3) 全体研修会：医療の質・安全を巡る最近の話題 2021年12月 e-learning 2022年1月20日</p> <p>4) 「院内自殺の予防と事後対応」</p> <p>5) 新入職員研修：4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、 9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、 3月1日</p> <p>6) 復職者研修：4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、 9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、 3月1日</p>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1) 当事者または発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。
- 2) RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼を行う。必要時には医療安全管理委員会へ上申する。
- 3) 各部署またはRM部会にて立案した改善案をもとに、医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。
- 4) 病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。
- 5) 改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価を行う

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7) その他院内感染対策推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2) 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3) 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4) アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案 5) 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6) 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7) 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8) その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 36回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入職員研修：「感染管理、感染症診療について」（1回） ・ 看護部新規看護師採用者オリエンテーション：「感染予防・対策、標準予防策 他」（2回） ・ 復職者、中途採用者（新採用者）オリエンテーション：「感染管理・感染症診療について」 e-learning（12回） ・ 病院全体研修：「コロナ下での感染対策：コロナもそれ以外も」「外来での抗菌薬適正使用」（1回） 「がん患者とCOVID-19、がん患者のワクチン、免疫療法と抗菌薬適正使用」（1回） ・ 委託清掃スタッフ研修：「職業感染対策、血液媒介病原微生物、営利物の種類」（3回） 「手指衛生の方法」（5回） ・ 委託リネンスタッフ研修：「リネン取り扱いの原則、手指衛生関連」（2回） ・ 委託警備スタッフ・設備整備スタッフ研修：「手指衛生関連」（4回） ・ 委託中材スタッフ研修：「職業感染対策」（2回） ・ 委託物品管理スタッフ研修：「手指衛生関連、環境整備」（2回） ・ 感染症勉強会：「化学療法部オリエンテーション 感染症の管理」（1回） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備 2) 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価 3) 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載） 4) 院内感染対策マニュアルの整備 5) 職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応） 6) 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング 7) 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 44回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ○医薬品安全管理研修会 <ul style="list-style-type: none"> 研修内容：麻薬・向精神薬の管理について 開催時期：2022年3月15日（火）-2022年3月31日（木） 開催方法：e-learning 研修対象者：医師、看護師、薬剤師 参加人数：669人 ○病棟常駐薬剤師による看護師向け研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修内容：医療麻薬の適正使用について 開催時期：2022年2月10日～3月24日 開催回数：21回 参加者人数：197名 ・ 研修内容：適切な薬剤投与のために注意すべきこと 開催時期：2021年6月23日～7月23日 開催回数：20回 参加人数：182名 ・ 研修内容：抗菌薬・鎮痛薬について 開催日：2021年7月6日 参加人数：15名 ・ 研修内容：オピオイドについて 開催日：2021年11月18日 参加人数：4名 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>(1) 手順書の定期的な見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回見直しを行っている。昨年度は2022年3月15日付で手順書の改訂を行った（以下抜粋）。 ・ 採用医薬品の選定において考慮する項目、後発医薬品の採用選定基準の追加 ・ 医薬品の保管領域への立ち入り制限についての追加 ・ 消毒薬の保管管理（誤飲防止、取違い防止策）についての追加 ・ 医療用ガスの定期的な管理保守点検記録についての追加 ・ 在宅患者への医薬品使用に係る安全管理についての追加 <p>(2) 手順書に基づく業務の実施状況の確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟担当薬剤師は週1回、外来担当薬剤師は月1回、「医薬品安全使用のためのチェックリスト」を用いて状況を確認し、医薬品安全管理担当者へ報告する。 ・ 医薬品安全管理担当者は、医薬品安全使用のためのチェックリストをもとに報告書を作成し、医薬品安全管理責任者へ報告する。 ・ 医薬品安全管理責任者は、状況に応じて必要な対策を講じる指示を出す。 ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会で医薬品安全使用に係る対策を検討し、必要に応じて医療安全管理委員会や病院運営会議、診療部長会議等で報告周知を行っている。 ・ 医薬品情報室担当薬剤師は、病棟担当薬剤師と連絡会議を開催し、医薬品安全使用の係る情報を共有している。病棟担当薬剤師は、情報のレベルに応じて、医師や看護師へ情報提供を行っている。 ・ 昨年度から医薬品安全管理責任者による病棟および外来の巡視を開始した（2021年度実績：1回/年） 	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

* 未承認薬 : 0件

* 適応外使用 : ①抗がん薬 : 85件

S-1 (46)、カペシタビン (22)、CDDP/VP-16 (4)、CBDCA/VP-16 (3)

S-1/CPT-11/BV (1)、IFM/CDDP/VP-16/5-FU (1)、CAP/L-OHP (1)

シクロホスファミド (1)、イマチニブ (1)、CBDCA/PAC/Ipi/Nivo (1)

5-FU/CDDP (1)、エベロリムス (1)、DOC/NDP (1)、DOC/CBDCA (1)

③irAE等の副作用対策 (支持療法) : 13件

グラニセトロン (1)、シクロスポリン (1)、トシリズマブ (1)

インフリキシマブ (3)、ミコフェノール酸モフェチル (3)、免疫グロブリン (1)

ベドリズマブ (1)、ペグフィルグラスチム (1)、ラスプリガーゼ (1)

④その他 (一般薬等) : 140件

オクトレオチド (31)、オクトレオチド (LAR) (1)、リバーロキサバン (1)

エドキサバン (1)、アピキサバン (2)、硝酸イソソルビド (1)、アスピリン (1)

メトプロロール酒石酸塩 (4)、塩化カリウム (1)、エリスロマイシン (7)

ミノサイクリン (1)、溶連菌抽出物注射用 (1)

乾燥濃縮人血液凝固第8因子 (6)、パパペリン酸塩 (1)、フルチカゾン (2)

デキサメタゾンエリキシル (10)、イミキモド (1)、アダパレン (62)

ウロキナーゼ (4)、ガバペンチン (1)、コルヒチン (1)

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

* PMDAやメディナビ、SAFE-DIに登録し採用医薬品 (非採用医薬品含む) の情報収集

* 学会誌や業界誌 (日刊薬業、メディファックス等) の定期購読による情報収集

* 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集

* 近隣連携施設 (病院、保険薬局含む) との定期面談による情報収集

* 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年52回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 人工呼吸器の取扱いについて ・ 血液浄化装置について ・ 除細動器について ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いについて ・ リニアックについて ・ 診療用放射線照射装置について ・ 新規導入医療機器の取扱いについて 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・ 人工呼吸器 ・ 血液浄化装置 ・ 除細動器 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 ・ 診療用放射線照射装置 ・ 医用X線CT装置 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：前年度使用事例無し ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 安全情報については行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ通知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時、情報を職員に提供している。 ・ 院内で発生したIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して院内全体に情報発信して注意喚起を行っている。 ・ 不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告し、改善を求める。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めており、委員会の運営の中で、委員会委員として参加している医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として、医療安全管理部ならびに院内感染対策部を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>(1) 医薬品情報管理室には専従薬剤師2名を配置し、情報の袖手整理周知及び周知状況の確認を実施している。</p> <p>(2) 情報の収集と整理</p> <ul style="list-style-type: none"> * PMDA やメディナビ、SAFE-DI に登録し採用医薬品（非採用医薬品含む）の情報収集 * 学会誌や業界誌（日刊薬業、メディファックス等）の定期購読による情報収集 * 採用医薬品の販売メーカー担当 MR との WEB 面談での情報収集 * 近隣連携施設（病院、保険薬局含む）との定期面談による情報収集 * 医薬品情報担当者は臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報把握・共有及び報告を実施 <p>(3) 情報の周知と確認</p> <p>・情報のレベル分類を大内、レベルに応じた情報発信と確認を実施している</p> <p>レベル A（緊急安全性情報、安全性速報、リコール情報等）</p> <ul style="list-style-type: none"> →処方患者、処方医を特定し個別に処方医に直接情報提供を行い、「情報提供の記録」を作成し、保管する（レベル C での対応に加えて）。 →必要に応じて対策を当該委員会で検討する。 <p>レベル B（医薬品安全性情報、適応症・用法用量の追加、禁忌事項等）</p> <ul style="list-style-type: none"> →診療科（汎用する医師）に対し、病棟担当薬剤師からカンファレンスや Cancer Board 等で直接伝達し、周知した情報（内容）、カンファレンス等出席者を記録する（レベル C の対応に加えて）。 <p>レベル C（薬事審議委員会報告、包装変更等）</p> <ul style="list-style-type: none"> →DI-News として院内配布および院内イントラネット（掲載）による情報周知 	

・ 薬剤部内における情報の周知と確認

Dr. JOY による情報の伝達と「既読」の有無による周知の確認（一般事項）

Desknets の閲覧機能による情報の伝達と「既読」の有無による周知の確認（機密事項）

薬剤部内掲示による情報の伝達と「確認済」のチェック

・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

（１）未承認薬

・ 治験/臨床研究 → IRB（臨床研究等倫理審査委員会）で審議、承認

・ 試薬等を用いる特殊院内製剤 → 薬事審議委員会で審議。また、未承認新規医薬品等評価委員会で承認

・ 患者の持込み等（例：入院時の薬剤師による持参薬確認等で把握）

→ 使用に際しては未承認新規医薬品等評価委会で審議、承認

（２）適応外使用

・ 希少がん等に対する治療 → レジメン審査委員会（化学療法部運営委員会内）での審議、承認。未承認新規医薬品等評価委員会で承認。

・ 公知申請 → 医事課/薬剤部医薬品情報管理室で把握、未承認新規医薬品等管理部に報告。

・ その他 → 薬剤師による処方鑑査時や病棟カンファ等で把握した情報（内容）を医薬品情報管理室へ報告。未承認新規医薬品等管理部の運営会議で報告。

（３）禁忌（疾患禁忌、併用禁忌等）

・ 併用禁忌（相互作用） → オーダーリングシステムの一次チェック及び薬剤部門システムの二次チェックで把握。

・ 疾患禁忌 → 薬剤師による処方監査時や病棟カンファで把握。

（４）未承認新規医薬品等管理部に部門長をおき、以下の業務を実施

・ 未承認新規医薬品等の使用状況の把握（月１回）

・ 病院 QMC 運営委員会での病院長への定期報告（月１回）

・ 未承認等の医薬品使用の記録の保管

・ 担当者の指名の有無（有・無）

・ 担当者の所属・職種：（所属：薬剤部，職種：薬剤師）

* 各病棟等担当者を医薬品安全管理担当補助者に指名し、担当者と連携を取る体制としている。

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 患者への医療の説明時に用いる文書については、規程に基づき設置された IC 委員会で審査及び修正され、委員会承認を得た文書のみ説明文書として電子カルテに格納される。同席者および説明項目等、説明文書に用いる項目については、IC 委員会で定める標準雛型文書で定めている。</p> <p>説明の是非等の確認は、診療情報管理委員会にて行う診療情報監査項目に含められており IC 委員会による監査を代行している。監査結果は診療科部長に連絡し、病院管理者連絡会及び IC 委員会にて結果報告し、指導を行っている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :</p> <p>診療録等の管理や記載内容の確認及び指導は、診療情報管理委員会が統括し、同意委員会と診療情報管理室および関連する院内各部が連携して実施した。診療情報管理委員長は診療情報管理責任者が就いている。</p> <p>診療情報監査は、委員長 1 名と医師委員 3 ~ 6 名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤師による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部により看護記録監査、診療情報管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は全診療科 1 ヶ月分の全退院患者の診療記録を対象とする。質的監査は、毎月当該診療科をしてつきに退院患者から 3 ~ 6 名を量的監査結果より抽出して実施する。また IC 委員会の代行として、説明同意の内容記録についても監査する。</p> <p>上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長と診療科診療情報管理委員会委員医師へ報告し、不備については改善を勧告し、月次開催される病院管理者連絡会議と IC 委員会報告する。特に問題のある診療記録内容については、再監査を行い診療情報管理委員会委員長が、当該医師・職員に面談し口頭指導する。看護記録監査は看護部よる手順により全看護師が参加して行っている。</p> <p>質的監査 (医師) 記載原則</p>	

記載された順に従って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる
診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている
適切に SOAP を用いて記載されている
外国語・略語は適切に使用されており、誤字脱字は認められない
事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない
医師・スタッフの私的メモや備忘録など不適切な表現がない

IC の記載

適切なタイミングで IC が実施され、記載されている
病名・病態の説明がされている
治療や検査の目的・必要性の説明がされている
治療や検査の内容の説明がされている
期待される効果の説明がされている
予測される毒性等の説明がされている
病院側の同席者（看護師など）が記載されている

傷病名の記載

正しい病名登録がされている
入院の契機となった主病名・副病名が的確である

入院期間

最低、週 1 回の部長（部長代行者）回診がおこなわれている
処置・処方指示記載・変更・訂正は正しく行われている

退院サマリ

正確かつ他者から見て理解できる内容である

投薬時の記載

投薬時に正しく診療内容が記載されている

質的監査（薬剤部）

記載原則

患者指導の都度、遅滞なく速やかに記載されている
適切なプロブレムが挙げられている
SOAP 形式で記載されている
“日本語で記載されており外国語・略語は使用していない”

コピー&ペーストは多用されていない

事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない

誤字・脱字が認められない

私的メモや備忘録は記載されていない

感情的な記載など不適切な表現がない

“薬剤管理指導

算定の記録 薬剤管理指導実施の文言がある

“プロブレムリストを用いている

抗血栓薬がある場合はテンプレートを用いて評価している

“手術患者への記載内容

手術日、術式の記載がある

術前中止薬の有無、薬剤アレルギー、既往歴の記載がある

パスを使用するにあたっての注意すべき疾患の有無

パス説明実施、理解度、薬剤についての評価が記載されている

“がん化学療法患者への記載

経過日、検査値、バイタル、糖尿病、B型肝炎の抗体・抗原についての記載がある

がん患者指導テンプレートを用いている

Grade 2以上の有害事象について評価されている

“麻薬加算について

オピオイドの服薬状況について記載がある

NRS、疼痛部位について記載がある

“退院時指導について

退院処方説明実施と理解度の記載がある

術前中止薬の再開の確認がされている

質的監査（栄養管理部）

栄養指導

栄養指導実施の記録（指示内容、実施時間）

栄養チーム

初回栄養スクリーニングシートの作成

カンファレンスの記録（参加者、計画案）

栄養治療実施計画の作成

量的監査（診療情報管理員）

入院診療計画書・手術記録・診療記録・退院サマリー

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（６）名
- うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（４）名
- うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（１）名
- うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（１）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1) 専従の医師・看護師・薬剤師による医療安全に関する職員の意識の向上や、指導のための教育・研修の実施。
- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査ならびに資料作成。
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信。
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内4カ所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認。
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催。
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施。
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施（中途採用を含む）。
- 11) 医療安全監査委員会の実施。
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に

係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。

2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認すること。

3) 病院長への定期的な報告

4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（28件）、及び許可件数（26件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

① 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用適否、使用条件等について意見を求め、未承認品新規医薬品等の院内で定めたリスク分類を踏まえ、使用適否、使用条件等を決定する。

② 定期的な診療科等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況確認

③ 病院長への定期的な報告（医療 QMC 運営委員会等）

④ 未承認新規医薬品等委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 405 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 220 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部では報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有しており、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（ （病院名：福岡大学病院） ・ 無 ）
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ （病院名：福岡大学病院） ・ 無 ）
- ・ 技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス流行の影響で、相互立入りは行わず、自己評価票を基に質疑応答および情報交換を実施した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況

専任の相談員が、多職種で構成された患者相談室会議や、適切な部署と連携を取りながら問題解決に努めている。緊急事態時には、院長への速やかな報告手段を取っている。

メンバー：室長・副院長・医療安全管理部・MSW・医事課担当者（入院・外来）・医療クオリティーマネージメントセンター事務

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- 1) 全体研修：「1999年12月28日 わたし達は忘れないこの日を」2021年6月8日～6月28日
- 2) 「安全な鎮静管理」 2021年10月21日
- 3) 全体研修：「医療の質・安全を巡る最近の話題」 2021年12月22日～2022年1月16日
- 4) 「院内自殺の予防と事後対応」 2022年1月20日
- 5) 新入職員研修：4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、3月1日
- 6) 復職者研修：4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、3月1日

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名： 病院長 佐野 武

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2021年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2021年12月23日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名： 副院長 / 乳腺センター長 / 医療クオリティマネジメントセンター長 大野真司

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2021年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2022年1月19日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名： 院長補佐 / 薬剤部長 / 麻薬管理責任者 山口正和

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2021年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2021年12月8日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名 : ME センター長 / 頭頸科部長 三谷浩樹

研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2021 年度特定機能病院管理者研修」

受講日 : 2022 年 1 月 19 日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

【受 審 日】 2022 年 5 月 18 日・19 日・20 日

【受審種別】 一般病院3 (3rdG: Ver. 2.0)

【結 果】 審査中

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

※審査中であるため、内容についての公表は未。

※評価が通知され次第に公表を実施予定。

・ 評価を踏まえ講じた措置

※審査中であるため、評価を踏まえ講じた措置についての実施は未。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<p>・ 基準の主な内容</p> <p>1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等</p> <p>2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等</p> <p>3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資質・能力等</p> <p>4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有している者</p> <p>5. 医師免許を有していること</p> <p>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<p>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 公表の方法</p>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア（デスクネッツ）で周知 デジタルサイネージで周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・公表の方法：閲覧の申し込みがあれば対応 ・外部有識者からの意見聴取の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。 			
合議体の委員名簿（病院運営会議）			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/医療情報部長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	院長補佐/泌尿器科部長
奥村 栄		医師	院長補佐/中央手術部長
西尾 誠		医師	院長補佐/呼吸器センター長
山口 正和		薬剤師	院長補佐/薬剤部長
高橋 祐		医師	院長補佐/肝胆膵外科部長
高野 利実		医師	院長補佐/乳腺内科部長
志賀 太郎		医師	院長補佐/総合診療部長
陳 劉松		医師	院長補佐/外来化学療法部長
山口 研成		医師	院長補佐/消化器化学療法科部長
河本 上総		総合職	経営本部長
山本 晃史		総合職	院長補佐/人事部長/総務部長
竹山 聡		総合職	医事部長
田中 正典		総合職	健診センター運営部長

合議体の委員名簿（経営会議）

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
浅野 敏雄	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	常務理事/研究所長
佐野 武		医師	常務理事/病院長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/医療情報部長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
馬場 慎也		総合職	チーフコンプライアンスオフィサー
藤田 直也		研究員	がん化学療法センター所長
河本 上総		総合職	経営本部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容

第10条 病院本部長（本部長代行）は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。

2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。

3 病院長（病院長代行）は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。

5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。

6 センター長は、病院長の命を受けて、それぞれのセンターの業務を掌理する。

7 副センター長はセンター長を補佐するものとし、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けたときは、副センター長が職務を代行する。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

- ・ マネジメント研修（管理職のみ）

日時：2021年10月10日（日）、31日（日）対面研修

対象者：医師

- ・ 人事考課（中間評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2021年8月17日（火）～9月30日（木）

対象者：管理監督者全員

- ・ 人事考課（年度末評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2022年2月16日（水）～3月31日（木）

対象者：管理監督者全員

在宅勤務実施にあたっての研修（e-ラーニング）

日時：随時実施

全職員 在宅勤務を実施する管理監督者は全員必須

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		<input checked="" type="checkbox"/> ・無			
<p>・監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療にかかわる安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。</p> <p>3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・公表の方法：</p> <p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学付 属さいたま医療 センター教授	○	医療安全に関する 業務及び研究への 従事経験を有する ため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（医師）
大滝 泰弘	帝京大学医療共 通教育研究セン ター教授		法曹資格を有し、医 療安全に関する研 究を行っているた め	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（弁護士）
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を 務めており、医療を 受ける者の立場の 代表となりうるた め	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2（医療を受け る者）
齋藤 彰一	公益財団法人が		前職にて医療安全	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	3（医師）

	ん研究会明病院		管理業務に従事した経験を有するため		
--	---------	--	-------------------	--	--

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
 - 監事会による監査
 - 理事会への監事の出席
 - 外部監査法人による監査の実施
 - 内部監査室による監査の実施
 - がん研なんでも相談所の設置及び運営
 - コンプライアンス委員会の開催

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

- ・ 公表の方法
 - 閲覧等の申込みがあれば対応

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月1回開催（8月以外）し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況（年 8 回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年 8 回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・ 公表の方法： 閲覧の申込みがあれば、対応。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿（理事会）			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
浅野 敏雄	(公財)がん研究会 理事長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
野田 哲生	(公財)がん研究会 常務理事・研究本部本部長・がん研究所所長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病院長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
市川 秀夫	昭和電工(株) 相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊藤 かつら	(前)日本マイクロソフト株式会社 執行役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス(株) 特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授 愛知医科大学 名誉教授／名古屋市立大学 名誉教授		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 特別理事		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
柿木 厚司	JFE ホールディングス(株) 代表取締役社長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
工藤 泰三	日本郵船(株) 特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
国土 典宏	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
広瀬 道明	東京ガス(株) 取締役会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松田 美紀子	慶應義塾大学病院 事務局長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
門田 守人	(地独)堺市立病院機構 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
柳井 準	三菱商事(株) 顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">医療安全マニュアルへの掲載及び配布入職時研修会での共有、院内グループウェア (デスクネッツ) への掲載